



開催協議会名	令和6年第1回益田警察署協議会		
開催日時	令和6年2月15日(木) 午後1時30分から午後3時30分まで		
出席者	協議会委員	4人(西田会長・北浦委員・須郷田委員・仲田委員)	
	警察署	11人(署長・副署長・総務課長・留置管理課長 ・生活安全課長・地域課長・刑事課長・交通課長 ・警備課長・会計課長・総務係長)	
会議・協議	署長からの 諮問	諮問事項	効果的な人材確保方策について
		説明概要	総務課長から、パワーポイントを使用し、過去の警察官募集における受験者数の推移や令和5年中の警察官募集活動の実施施策等について、説明を行った。
		答申(意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道や剣道等の体育系のイメージが強いので、「音楽隊等もある」等と文科系の生徒らへのPRをもっと進めてはどうか。 ・地元の少年剣道教室出身の警察官も多いことから、剣道教室等と警察との連携や活性化が将来、警察官希望者の増加につながるのではないか。 ・マーケティングでは大きい市場を狙うので益田市だけでなく、中国地方や現在、高校から進学する者が多い状況から、高校生よりも大学生を狙ったアプローチをしてはどうか。 ・いきなり、受験者を増加させるのは難しいので、今までもしていると思うが地道に各種業務に併せての声掛けや募集を勧めるしかない感じもする。 ・採用における身長、体重といった身体的条件の緩和等についても、周知されていないところも感じるので、そういったものの周知も進めてはどうか。 ・子供だけではなく、親にも「きつい」「危険」「帰れない」というイメージが強く残っており、子供に警察官を勧めないパターンもあると思うので、親に対するアプローチも試してみてもどうか。

<p>業務報告</p>	<p>○ 令和5年中の各課取組内容 各課長（総務課、生活安全課、地域課、刑事課、交通課、警備課）から、パワーポイントを使用し、令和5年中に実施した施策、訓練及び教養等について説明を実施した。 ※ 委員から意見等はなし</p> <p>○ 令和6年益田警察署運営指針・活動重点 各課長（生活安全課、刑事課、交通課、警備課、総務課）から、令和6年における益田警察署の運営指針と活動重点について説明を行った ※ 委員から、音声付き信号機の設置増加について希望がなされたことから、本部と協議の上、必要な場所等には信号機の設置を検討していく旨の説明をした。</p>
<p>委員からの提言等</p>	<p>○ 街灯の少ない地域があり、学生等が帰宅する際に危険とを感じる地域があるので、これらをリストアップし、町内会や益田市への要望・検討をお願いしたい旨の意見があったことから、街灯の設置主体については、自治体や町内会となっており、警察としては自治体等から設置場所について意見を求められた場合、犯罪情勢等に基づいたうえで助言を行い、より良い設置に向けた役割を果たしていきたい旨を説明した。</p>
<p>視 察</p>	<p>本協議会開始前、当署及び交通機動隊西部方面隊委員による白バイの視察を行った。</p>
	
<p>会長挨拶</p>	<p>署長挨拶</p>

写

真



諮問状況（総務課長説明）



意見交換



視察状況